

暑さなんかに 負けないよ

水浴び (子供の国保育園にて)

◎主な内容

- 奥大山スキー場雪崩事故調査報告書 … 2～3
- 東日本大震災・支援派遣 …… 4～5
- 町の話題 (鳥取県西部消防ポンプ操法大会ほか) … 6～7
- 福祉保健課から (家庭でできる食中毒予防ほか) … 8～9
- 教育委員会から
(同和問題の解決や差別意識の解消にむけてほか) … 10～14
- 建設課から (ポンプが悲鳴を上げています!) … 15
- 農林課・農業委員会から
(平成22年度中山間地域等直接支払制度実施状況の報告) … 16～17
- 情報コーナー (鳥取県非常勤職員募集ほか) … 18
- 平成23年度江府町人権・同和教育講座
たんほほ学級 …… 19
- 町民生活課から
(注意!! “海外宝くじ”のダイレクトメールほか) … 20
- 企画政策課から
(アナログ放送は7月24日で終了します) … 21
- 行事あれこれ …… 22
- 人の動き ほか …… 23
- 第53回鳥取県西部消防ポンプ操法大会ほか … 24

奥大山スキー場雪崩事故調査報告書

奥大山スキー場雪崩事故調査報告書 (最終報告)概要

昨年末の災害事故以来、雪崩事故調査をしていただいていた特定非営利活動法人ACTから、五月一八日に調査報告書(最終報告)が提出されました。

町では、早速ご遺族の皆様には調査報告書をお渡しして、調査結果の説明を行いました。

この報告書を受け、施設の安全対策や体制の整備に着手し、悲惨な事故が二度と起こらないよう努めます。

同報告書は江府町図書館で閲覧いただけます。

最終報告書の概要を以下に掲載いたします。

一、事故の概況

発生日時
二〇一〇年二月三日(金)
一三時五分頃
気象状況
天候 雪、気温マイナス
五・四℃
積雪深 一一九cm
降雪深 五三cm
鳥取県西部に大雪警報、雪崩注意報発令中
発生場所
町営奥大山スキー場、女良谷(めらだに)コース、第二リフト降り場からコース内へ約二〇〇m進んだ地点

概況
事故当日は朝七時頃から雪が降り始め、正午までに約五〇cmと短時間で多量降雪を記録した日であった。
一二時四〇分頃、女良谷コ

四、雪崩発生の原因

事故当日の急激な降雪と北西風により、風下斜面に形成された吹き溜まりを発生区にした雪庇の崩落をトリガーとする表層雪崩が発生した可能性が高い。低温下における短時間での多量降雪で不安定な降雪状態になっていたため、発生した雪崩は煙型となり、女良谷コースの緩斜面まで達

してさらに流走距離を伸ばしたことが考えられる。

五、雪崩経路の地形(植生)

女良谷コースから見上げると、雪崩が収束した沢状地形部は、樹木帯が密であるためそこを通過しての雪崩の襲来は予期しにくい場所であった。



図1 第1、第2雪崩の経路³⁾

二、雪崩の状況

雪崩の種類
面発生乾雪表層雪崩煙型⁵⁾
雪崩の流下距離
約八〇〇m
推定発生雪量
約一万m³
発生区の規模
幅約一〇〇m、長さ約二五〇m、厚さ約〇・五〜一・〇m
発生区の平均傾斜角
約四〇度
デブリ先端からの見通し角
二三四度
斜面の向き 南

三、雪崩シミュレーション結果の考察

雪崩の速度は九〇km/h前後の高速であったため、たとえ雪崩の襲来に気づいたとしても雪崩を避けることは不可能であったと考えられる。

六、奥大山スキー場の雪崩に対する認識

地元の人々が「昭和三八年の豪雪以来」という歴史的な異常気象の中でこの事故は起きている。奥大山スキー場は今回の異常気象に対応できる管理レベルではなかった。雪崩という自然現象を知っているも身近に感じることができなければ防衛技術として身に付けることは困難なものかもしれない。しかし、意図的に雪崩の危険性を把握しようとする、雪崩に対する危険性を認識していたとすれば、最初の雪崩が相応の危険性を訴えていた事に気づけた可能性は否定できない。

七、心理学観点からの考察

奥大山スキー場ではこれまでゲレンデで雪崩が起きた事もなく、また雪の重い西日本では表層雪崩が起こる機会はその多くないので、「これは特別なことではなく、よくある雪ずりではないものではない」と考えたのは、ごくごく自然な思考の流れだったと思われる。意識していなければ、

八、今後の雪崩対策への提言

ハード対策として、調査結果から全ての条件を満たすのは、誘導擁壁(誘導工)と枠組工(減勢柵)であるが、保全対象がスキー場であることから減勢工を選択する。施設設置場所は、被災箇所上部の沢状狭隘部に設置することを提案する。減勢柵の高さは5m以上を推奨する。減勢柵等の雪崩対策施設設置後も、積雪量に応じて多降雪時は雪堤と組み合わせた二重対策を推奨する。ソフト対策としては、積極的対策及び奥大山スキー場の雪崩対策の進め方として①雪崩対策は二四時間対応(気象観測、監視カメラの設置)②スキー場の雪崩対策は、権限を持たせた部署で行う③雪崩対策の進化④ゲストへの啓発⑤チームレスキューのシステムを持つこと⑥混乱を避けるために役割を平時から事前に決めておくことを提案。

奥大山スキー場 災害にかかる主な経過

- 平成二十二年
十二月三十一日
雪崩災害発生。被災者四名全員死亡。緊急管理職会議開催。奥大山スキー場災害対応本部設置。管理職員を被災者搬送先病院に派遣。
- 平成二十三年
一月一日
議会全員協議会開催(事故報告) 索道事業運営委員会開催(事故報告) 遺族訪問(二日)
- 一月三日
通夜参列
- 一月四日
献花台設置
- 一月五日
葬儀参列(故藤崎氏、故長岡氏)
- 一月七日
各遺族へ事故報告
- 一月七日
葬儀参列(故松本氏、故山根氏)
- 一月七日
奥大山スキー場災害のお詫びと事故報告(全戸配布及び江府町ホームページ掲載)
- 一月十二日
NPO法人(専門家)及び警察による事故現地調査
- 一月十三日
遺族訪問(四十九日まで七日毎)
- 一月十七日
江府町索道事業運営委員会開催(スキー場管理について 他)
- 一月十九日
臨時議会、議会全員協議会開催(災害対応経過報告)
- 一月二十二日~二十四日
スキー場パトロール研修
- 一月二十七日
奥大山スキー場災害犠牲者追悼式
- 二月三日
ご遺族訪問
- 二月八日
臨時議会、議会全員協議会報告(災害対応費補正、災害対応経過報告) 奥大山スキー場雪崩事故調査中間報告(遺族説明) 警察及び労働基準監督署による現場検証
- 二月九日
スキー場パトロール員及び職員研修(十日まで)
- 二月十日
ご遺族訪問(見舞金贈呈)
- 二月十日
奥大山スキー場一部営業再開(第一リフトのみ)
- 二月十七日
ご遺族訪問(四十九日)
- 三月三日
奥大山スキー場災害対応本部解除(経過報告他)
- 三月七日
江府町索道事業運営委員会開催(経過報告)
- 三月七日
議会全員協議会
- 三月二十三日
(災害対応経過報告)
- 三月二十三日
ご遺族訪問(鳥取県豪雪災害復興義援金配分)
- 三月二十五日~二十八日
NPO法人による事故現地調査
- 五月十六日
臨時議会、議会全員協議会(災害対応経過報告)
- 五月十八日
奥大山スキー場雪崩事故調査報告書(最終報告) 受領
- 五月二十三日
調査報告書説明(松江市)
- 五月二十五日
調査報告書説明(江府町)
- 六月二日
調査報告書説明(江府町)
- 六月二日
江府町索道事業運営委員会開催
- 六月二日
奥大山スキー場雪崩事故調査報告書(最終報告)について
- 六月九日
奥大山スキー場安全対策について
- 六月九日
奥大山スキー場雪崩事故調査報告書概要公表(江府町ホームページ掲載)

東日本大震災復興支援職員派遣

町では、東日本大震災で被災された方々に、一日も早く安定した生活を取り戻していただくため、県と連携して被災地での復興支援に、災害応援隊を派遣しています。これまで、支援活動から帰庁された四名の方に、現地での活動状況などを報告いただきましたので紹介します。

備えあれば憂いなし

浦部達洋（企画政策課主事）

四月二十四日から五月三日まで、鳥取県の職員災害派遣隊第八陣の一員として、宮城県石巻市の支援に参加しました。翌日昼、石巻市役所に到着し

各自で生活の場を確保されてきました。業務は朝六時から夜十時までで、生活用品の配給や補充依頼、食事の配膳、り災証明書等の受付、避難者の受入等の把握などで、空きの時間は掃除や被災者の話し相手などを行いました。

被災して一ヶ月以上経過していたこともあり、多少のトラブルもありましたが、皆さん比較的落ち着いておられ秩序正しく生活しておられました。これには自治組織の働きが大きいと思います。各部屋ごとに一名のリーダーが選出され週三回のリーダー会議に出席。情報の伝達や協議事項の決定などが行われ私たちも会に加わりました。日曜日には、リーダーだけの会議も行われ会議の内容は持ち帰り部屋の住民に伝達されます。

大震災の現場を目の当たりにして災害の恐ろしさを実感しました。ある避難者が「まさ

かこんな大きなこと（被害）になるとは思わなかった。大切なものを失った。もっと早くに避難していたらよかった。自然を甘く見たらいかん」と話された事が今でも忘れられません。私は、役場職員として一年、今年の春には消防団員になりました。消防の操法訓練をしていると意図していないミスが起こり中断すると先輩団員から「止めるな。そのまま続けろ。」と言われます。不測の事態にどう対処するかを経験するためだと思います。今回の支援活動で、想定外災害を想定し難を回避する予防策の検討や災害発生時の対処訓練を普段から実施しておくことが肝心だと感じました。

皆に平等・公平に

川上 豊（教育委員会 社会教育室長）

四月三十日から五月九日まで、鳥取県の職員災害派遣隊第八陣（後半）の一員として、宮

まさかこんな事になるとは思わなかった」と津波の恐ろしさを言われていました。

本町においては本年度から『江府町防災の日』を設け、総合防災訓練を計画しています。単にイベント的なものでなく、災害を想定した炊き出し等も含め住民コミュニティを重視した訓練を計画しています。今回の災害派遣において近年大雪やゲリラ豪雨、竜巻など予期せぬ気象現象が全国的に多く発生しています。災害は、いつ何時発生するか分かりません。有事の際には、人と人とのつながりが最も大切であり、普段からの助け合いが大切であると痛感しました。

次の自立に向け

支援の継続を

松井英樹（福祉保健課主幹）

五月三十日から六月八日まで、鳥取県の職員災害派遣隊第十四陣の一員として、宮城県石巻市の支援に参加し、蛇田（へびた）小学校の避難所で業務を行いました。

移動途中、津波被害に遭った平野部の住宅地を見て、まぎす思い浮かんだのは、戦争映画に出てくる爆撃後の焼け野原でした。被害は事前にテレビ等で見た情報以上のもの

城石巻市の支援に参加しました。浦部主事と入れ替わりで行いました。移動途中、津波被害に遭った平野部の住宅地を見て、まず思い浮かんだのは、広島市の原爆資料館で見た原爆投下後の広島市内の写真で、どこから手を付けたらいいのか分からない状態です。当時押し寄せた津波を想像したとき今でも背筋が凍る思いです。

青葉中学校の避難者は、着任時が三百九十六人で離任時が三百四十九人と徐々に減ってきました。仮設住宅や親戚のもとに居を移されたためと思われま

支援は、学校教員数名（施設管理）、救護班二名（看護師が心と体のケア）、自衛隊（食事の準備・配給、不足物資の配達、仮設シャワー）、自治

五月三十一日に発表された石巻市の状況は、死者三千四十八人、推定で七千三百人の避難者が九十八箇所の避難所に身を寄せていました。蛇田小学校には着任時が百六人、離任時が百一人で日々増減するも比較的落ち着いた避難所でした。

業務内容は、配達される支援物資・食料等の受取り・仕分け・配給・管理、市本部との連絡調整、施設の管理が主でした。電気・上下水道も既に復旧しており、運営は五つの班に分かれ各リーダーが一名づつ選出され、リーダー会議も開催されていました。大半の避難者が地区外の方々でしたがお互いの会話もあり、皆さん自立され私たちはただ見守るだけでした。

朝食後、姿がなくなり夕食には帰ってくる人が多くありました。県外の親戚から車を借りたりバスや鉄道を利用して、仕事に行ったり自宅の片付けや買い物に出かけられているそうです。

避難所の雰囲気は比較的、明るいと感じました。避難者から、差し入れをいただいたり、笑顔も見受けられます。イベントも盛上がりま

体職員五名（鳥取県二名と神奈川県三名）、自治労派遣二名（夜間業務）で行いました。業務内容は前述の浦部主事と同じですが、特に注意したのは物資の配給と食事の配膳でした。物資の注文を市の本部に送ると後日届けられます。配布を開始したところ注文数より少なかったようで、もらえなかった避難者とトラブルになりました。それ以降、配給物は数量をよく確認した上で配布しました。簡単なようですが種類も多く狭い保管倉庫での数量確認は重労働です。食事の配膳も同様で、食事が不足し食べられなかった日もありました。

個人的なクレームを受けることが多くありました。相手の言い分をよく聞き、最後に「あなただけではありません。皆も同じですよ」と説明すると落ち着かれます。避難者も一向に進展しない情勢に徐々にストレスが溜まってきています。業務の合間には、できるだけ多くの方と会話を交わすよう努めました。

最後に組織について感じたことを述べます。避難者が自ら組織したリーダー会議での決定事項等は各班員に伝達され、規律・統制が保たれていました。私達も会議に加わりましたが、道理に合わない事には発言しましたが、あくまでも助言の

参加して行きました。また六月四日には「ゲゲゲの鬼太郎」が来場し琴浦町ボランティアによる「あご力ツカレー」と味噌汁の炊き出しがあり、大盛況でした。私たちも皆に楽しんでもらえることがないかと、数量の半端な支援物資を景品に、抽選会を企画したところ、こちらも大いに盛り上がりました。

話しかけると皆一応に気さくに応じていただけです。最初は震災の事には触れないようにしましたが、話しているうちに避難者から語り始め、悲しい表情に変わりますが、すぐもとの明るい表情に戻ります。

多くの方と話ができました。住宅が全壊し身寄りのない高齢者、会社が流され職を求めている男性。共通していることは、この地でもう一度再建して生活したいと希望されていることです。

最近テレビでの被災地のニュースや支援要請の番組が少なくなりました。私たちの記憶から段々と記憶が薄れつつあります。復興にはまだまだ多くの時間と支援が必要です。現地は梅雨明け前の不快な環境の中、扇風機の風にあたりじっと耐えながら明るく振舞っている姿を想像するとき胸が熱くなります。

みで全てはリーダー会議で方針を決めて行きました。支援側が押し付けるのではなく、避難者自身が主役となって運営されていることが、規律・統制が保たれている所以ではないかと感じました。

自主防災組織の必要性、実践訓練の実施

竹茂良平（総務課主幹）

五月二十四日から六月二日まで、鳥取県の職員災害派遣隊第十三陣の一員として、宮城県石巻市の支援に参加し、鹿妻（かずま）小学校の避難所で業務を行いました。

石巻市は人口約十六万人の漁業の町です。港湾部には漁港や水産加工の工場やそこで働く人たちの住宅がありましたが津波の被害によりほとんど全てが破壊され、流され、死者、行方不明者が多数発生しました。

鹿妻小学校の避難所周辺も多くの被害を受けていました。被災者は百二十三世帯・二百八十二人（六月一日現在）であり、体育館や教室をにダンボールで仕切りを作り共同生活をさせていました。電気は復旧していましたが、上下水道は使用できませんでした。飲料水は全てミネラルウォーターと自衛隊からの給水、グラウンドには仮設トイレが設

置されて行きました。食事は、配給であり朝食は配給品のおにぎりとパンが各一個、牛乳一本、昼と夜は常駐の自衛隊の炊き出しがありご飯と味噌汁、ひじきやポテトサラダなどの副菜、それにレトルトのカレーや中華丼などが付きました。昼と夜は学校周辺の自宅で生活している方も来場するため、約一千人の人でごった返します。風呂は自衛隊によりシャワーが常備されていました。主な業務内容は、配達される支援物資・食料等の受取り・仕分け・配給・管理、クレーム処理が主でした。避難所は被災者による「対策本部」が組織されました。対策本部は本部長、本部長代理市の臨時雇用職員と北海道からの派遣職員二名、鳥取県からの派遣職員二名で、組織されています。現地では昼間自営業をされている本部長に代わり、被災者でもある女性の本部長代理がリーダーとなって被災者のクレームや支援に奔走されていました。また班が編成されており、トイレ掃除など被災者自身ができることは分担して行われ被災者が自立して運営されています。

多忙な業務の合間に被災者と話す機会がありました。皆口々に「津波の威力を甘く見ていた

第五十三回鳥取県西部消防

ポンプ操法大会

一年連続優勝(第一分団)、四位(第二分団)

七月三日、米子市の鳥取県消防学校で、第五十三回鳥取県西部消防ポンプ操法大会が開催され、「ポンプ車の部」で、昨年全国優勝した第一分団が安定した操法で二連覇を達成しました。第二分団は三位の日南町と同点でしたが、タイム差で惜しくも四位でした。

また優秀な番員に贈呈される「番員賞」も本町から六人が受賞しました。

大岩泰彦大会長（県西部消防協会会長・江府町消防団長）に竹内敏朗鳥取県西部町村会長（江府町長）等来賓多数参列のもと、「ポンプ車の部」に県西部町村から九隊が出場しました。

優勝した第一分団は、七月十七日、鳥取市で開催される第五十七回鳥取県消防ポンプ操法大会に、県西部町村代表として出場します。この大会は、実際の火災消火を想定し、合図があつてから放水するまでの時間や消火技術の正確さ・安全性に加え、番員同士の協調性や規律などが審査されるものです。この一連の操作方法は「操法」と呼ばれ実際の消火活動現場においても、ほぼ同様の行為が行われます。

このことから本町では、町民皆さんの生命・財産を火災から守るため、「操法」を重視し日々訓練をしています。

○大会結果 総合成績

第一位

江府町消防団第一分団 一八〇・七五点

第二位

大山町消防団名和分団 一七二・〇〇点

第三位

日南町消防団日野上分団 一六九・二五点

第四位

江府町消防団第二分団 一六九・二五点

「番員賞」受賞者

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ○指揮者 第一分団 班長 大岩一彦 | ○指揮者 第二分団 班長 池田健一(班長) |
| ○一番員 第一分団 団員 土居洋三 | ○一番員 第二分団 団員 松原順二(団員) |
| ○二番員 第二分団 団員 浦部達洋 | ○二番員 第一分団 団員 浦部達洋 |
| ○三番員 第一分団 団員 北村勇介 | ○三番員 第二分団 団員 田本丈一(団員) |
| ○四番員 第一分団 団員 大岩俊輔 | ○四番員 第二分団 団員 原田浩司(団員) |
| ○補助員 第二分団 団員 原田浩司 | ○補助員 第二分団 団員 西岡浩治(団員) |

出場した隊員

- | | | | | | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 第一分団 | ○指揮者 大岩一彦(班長) | ○一番員 土居洋三(団員) | ○二番員 中尾祐也(団員) | ○三番員 北村勇介(団員) | ○四番員 大岩俊輔(団員) | ○補助員 森田祐基(班長) |
| 第二分団 | ○指揮者 池田健一(班長) | ○一番員 松原順二(団員) | ○二番員 浦部達洋(団員) | ○三番員 田本丈一(団員) | ○四番員 原田浩司(団員) | ○補助員 西岡浩治(団員) |

(関連写真を最終頁に掲載しています)

「ごうぎん希望の森・奥大山」森林保全活動

六月二十五日、三平山山麓の「ごうぎん希望の森・奥大山」(二六・一ha)で、山陰合

同銀行の行員、家族の皆さん約百人による森林保全活動が行われました。

開会式で、宮本副町長が「皆さんの活動に感謝します。暑い中のつらい作業ですが、適度な休憩を取り草むらを覗いて見てください。ひっそりと花を付けた植物が疲れを癒してくれることでしょうか」とあいさつ。

早速、八つの班に分かれて作業を開始。鳥取日野森林組合職員の指導を受けながら、下草刈や遊歩道の整備に汗を流しました。作業終了後、中尾慶治郎さん(尾之上原)による「たたら製鉄を支えた日野の山林」と題した講演があり、製鉄の際に大量の炭が使用されたこと、原料となるコナラ等広葉樹が活用され、森林と人間が上手に共生していた歴史等が説明されました。

今回初めて参加した行員は「森林との共生や保全活動の必要性がよく分かった。次回の活動にも是非参加したい」と話していました。



「ごうぎん希望の森・奥大山」

山林所有者は助沢集落と日の詰集落。平成十八年八月に、県が推進する「とつとり共生の森事業」により(株)山陰合同銀行と十年間の土地無償貸付契約を締結。所有者に代わって(株)山陰合同銀行が森林保全活動を行う。

米子市美術展で 市展賞を受賞

六月に開かれた第五十一回米子市美術展で加藤尚子さん（助沢）が洋画部門で市展賞を受賞しました。

加藤さんは、中学生のとき、「家庭の日」にちなんだ絵画作品で優良賞を受賞するなど、絵画への関心を高く持ち、高校でも美術部に所属、絵画に対する技量を磨いています。

洋画部門（六十六作品）では風景画が多く出展される中、加藤さんの作品は、高校の女性の先輩を忠実に描写し出展。最高賞の市展賞の受賞となりました。



市展賞受賞の加藤さん

ブナ林をより豊かに 江府中一年生が自然環境学習

七月一日、鏡ヶ成地内で江府中学校の生徒（二年生二十九名）がブナの木の幼木の保全活動などを含めた環境学習を行いました。

このブナ林の保全活動は、平成十三年当時、ブナ林の復元を目的に、五百本ものブナの木の幼木を植栽したのが始まり。以来、江府中学校生徒の手により保育作業が先輩から後輩に受け継がれています。

この日は、雨の降る悪天候のため、下草刈りなどの作業などはできませんでしたが、日野農業改良普及所の職員の方の自然環境に関する説明を聞いたたり、先輩が植栽した幼木の成長を確認していました。

このブナの木の保全活動は、今後も継続され、森林保全や環境保護への意識の高揚が期待されています。



幼木（ブナ）の保全活動する生徒ら

第二十六回江府町 実年ソフトボール大会 開催！

六月六日から九日にかけて江府町実年ソフトボール大会が運動公園総合グラウンドで開催されました。

大会は男性四五歳以上、女性二五歳以上の各地域の仲間が構成された全八チーム、一八九名が参加。

試合前には久々に集まった仲間と談議に花を咲かせていた選手のみなさんも、試合が開始されると真剣勝負。それぞれの好プレーでチームを支え、機会を待って打線を爆発させる。プレーの全てに熟練の技を感じさせる大会となりました。

結果は次のとおりです。

- ☆優勝 貝田
- ☆準優勝 江尾第二
- ☆第3位 俣野

※入賞されたチームには体育協会ソフトボール部より副賞が贈られました。



猛打爆発で大会6連覇！ 貝田チーム



惜しくも力及ばず…準優勝 江尾第二チーム

家庭でできる食中毒予防

食中毒というと、旅館や飲食店での食事が原因と思われがちですが、実は家庭の食事でも多く発生しています。

ただ、家庭での食中毒は症状が軽かったり、風邪や寝冷えなどと思われがちです。

しかし、中には重症化や死亡する例もあり、特に小さい子どもや高齢者は抵抗力が弱く注意が必要です。家庭においても、食中毒予防で健康な毎日を送りましょう。

ポイント 1 **食品の購入**

新鮮なもの、消費期限などを確認して購入する
消費期限とは安全に食べられる期間のことです。

ポイント 2 **家庭での保存**

持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫で保存する
冷凍しても菌は死にません。早めに使い切りましょう。

ポイント 3 **下準備**

手を洗う、清潔な調理器具を使う
肉・魚・卵を扱った後や、おむつ交換をした後など手洗いをしましょう。
肉や魚を調理したまな板、包丁は一度熱湯で洗い流しましょう。

ポイント 4 **調理**

手を洗う、十分に加熱する
(75℃で1分以上)
特に小さな子どもや高齢者のいる家庭では、生ものに注意が必要。夏場は生ものはなるべく控えましょう。

ポイント 5 **食事**

手を洗う、料理を室温で長く放置しない

ポイント 6 **残った食品**

清潔な容器で保存する、再加熱もしっかりと
温めなおす時は十分加熱させましょう。



食中毒予防は、細菌やウイルスを「つけない、増やさない、やっつける」の3原則が基本です。食中毒かなと思ったら、市販薬は利用せず、まず医師に相談しましょう。

「ねこを飼うときに 守ってほしいこと」

最近、ねこの糞があちこちにあり困るという苦情が多く聞かれます。

犬と同様、猫を飼育するときは、糞尿のしつけは家や敷地内が基本です。ねこの放し飼いによる糞尿の問題以外にも、交通事故や野良ねこから病気を移されるなどの被害にあうケースもあるので、ねこは室内で飼いましょう。

また、野良ねこに、かわいからとエサを与えると、野良ねこがどんどん増えて糞尿や泣き声などによる周辺への被害や迷惑も大きくなります。

無責任にエサをやるのではなく、きちんと飼育し、主になって愛情と責任を持って飼育しましょう。

＝こんなときは、保健所に相談！＝

(相談先：日野総合事務所 福祉保健局 電話72-2038)

☆新たな飼い主が見つからず、どうしても飼えなくなったとき

☆保健所に保護されたねこや犬を飼いたいとき など

*鳥取県ホームページの「とりネット」でも保護されたねこや犬に関する情報を提供しています。



「熱中症注意報」て なに？



鳥取県では、全国初の取組みとして、今年度から「熱中症注意報」を発令します。環境省が観測している「暑さ指数」などを基に、熱中症が発生しやすい気象条件の時、鳥取県健康対策課から発令されます。

「熱中症」を防ぎましょう

重症になると大変危険な病気ですが、自分自身で予防できます。日頃から体調を整え無理をせず過ごしましょう。予防法として、主な注意点を紹介します。

- ①こまめに水分を取りましょう。
- ②外出時には、帽子や日傘などで日差しを避けましょう。
- ③室内では冷房器具などを利用して温度調整を行いましょう。
- ④体調が悪いときは、運動や畑仕事は無理をせずに休憩しながら行いましょう。

日本脳炎の予防接種を 受けましょう



日本脳炎の予防接種は、平成17年度から積極的な接種が差し控えられていましたが、新しい安全なワクチンが開発され、接種を受けられるようになりました。

ワクチンについて

現在、接種に使用されるワクチンは、すべて安全性が確認された新しいワクチンです。

対象者について

今年度、3歳、4歳のお子様と小学校3～4年生には、接種について案内通知をいたします。また、平成7年6月1日から平成19年4月1日生まれの方で、1期及び2期の接種が終わっていない方には、案内通知をいたしません。20歳未満までの間に、定期予防接種として接種することができます。

後期高齢者医療被保険者証 国民健康保険高齢受給者証の更新について

現在お持ちの被保険者証及び高齢受給者証が7月末日で使えなくなります。

7月25日（月）頃から新しい被保険者証及び高齢受給者証を、住所地に郵送いたしますので、8月1日（月）からは新しい被保険者証及び高齢受給者証を使用してください。

○送付先が住所地と異なる方

施設入所や住所地と異なったご家族やご親戚のもとに居住されている方は、役場福祉保健課にご連絡ください。現在の居住地に送付いたします。

○直接受取りを希望される方

下記の日時でお渡しいたします。

なお、ご本人やご家族以外の方で委任をされて受け取られる方は、委任者の印鑑を持参してください。

※受取期間：平成23年7月20日（水）から22日（金）の午前9時から午後4時まで

お問合わせ 福祉保健課課（電話75-6111）

同和問題の解決や

差別意識の解消にむけて

町同和問題に関する町民意識調査の結果（No. 2）をお知らせします。
差別のない明るい町をつくるために、私たちはなにを考え、どう行動するのか、皆で考えましょう。
一〜四は六月号に掲載しています。

五 「同和問題」の解決方法

（質問二十五）について

地区外住民において「学校教育、社会教育を通じて、差別意識をなくし、人権を大切にす教育活動啓発活動を積極的に行う」を四割弱の人々が回答している一方で、『同和地区』の人びとが、まず差別されないようにすることが大切である」と、被差別の立場にある人々への差別の正当化とも取れる意見を二十五・七％が支持する状況も読み取れます。

（ただし、質問十六〜六によれば、この意見を支持する人は一九九九年調査より減少傾向にはあります。）

「『同和地区』の人びとが、かたまつて住まないで、分散して住むようにすればよい」も八・一％を占めています。さらに、「このままそつとしておけば自然になくなると思う」（十九・九％）、割合は低いのですが「どんなことをしても、『部落差別』はなくなるならない」（四・七％）といった、消極的な意見

が相当の割合を占めている点についても注意が必要であると考えられます。

また、地区住民においては教育活動、啓発活動とともに、生活の課題として教育支援、就労支援をより重要な課題として挙げている点に着目する必要があると考えられます。（第三章）

六 「同和地区」の人のことを意識するとき

（質問九）について

一九九九年調査と比べ、「結婚するとき」の割合が約十三ポイント減少している点が目を引きます。

「とくに意識しているとは思わない」の割合（五十一・一％）も、十六ポイント高くなっていることに鑑みれば、町民の間で「同和地区」の人々について気にする人は減っていると考えられることはできません。それでも本調査においても注目されるのは「結婚す

るとき」と他の項目との割合の差です。調査結果は現在においてもいわゆる社会意識として「同和地区」の人との結婚を忌避する傾向が存在している事を示しています。その点については、自分の子どもが「同和地区」出身の人と恋愛し、結婚まで話が進んだとき（質問十二）の結果において、反対する意見は少ないものの、「賛成できないが、子供の意思が強ければ結婚しても仕方ない」という消極的承認が地区外住民において二十・五％見られることから伺えます。

7月10日から8月9日

部落解放月間

7月10日から8月9日までの1ヶ月間は部落解放月間です。昭和45年に鳥取県が制定し、毎年期間中、鳥取県及び各市町村が連携しながら、一人一人が同和問題を正しく理解し、認識を深めていただくよう、様々な啓発活動が行われます。

町では期間中、下記の研修会を開催します。

人権・同和教育研修会開催

日時 7月13日（水）午後1時30分～3時
場所 江府町防災・情報センター
講演 演題「震災と人権」
講師 城戸秀則さん（阪神淡路大震災の語り部）

毎年七月は『社会を明るくする運動』の強調月間です。この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちや非行に走った少年の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

運動の初日、保護司、更生保護女性会、青少年育成町民会議の代表者が法務大臣及び鳥取県知事のメッセージを町長へ伝達した後、町内を巡回広報しました。第六十一回の今年は「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をキャッチフレーズに行動目標は

☆犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう
 ☆犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう
 ☆これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう

重点事項として

☆立ち直りを支える取組についての理解促進
 ☆犯罪や非行をした人たちの就労・住居等の生活基盤づくり

を掲げて運動を展開します。

一人一人が「自分でできること」を見つけ、具体的な行動を起こしましょう…。

みんなで、声かけ運動に参加したり、親子で触れ合う機会を積極的に作ったり、地域の人の交流を深める催しに参加したり。

犯罪や非行のない、安全で安心な社会をつくるために、まずは、あなたができることから始めてみませんか？



メッセージを伝える皆さん



人権コーナー

和い輪いひろば⑭

人が人として認めあい、お互いの思いをつなぐための手段、「ことば」。コミュニケーションをとるための重要な道具です。それにはもちろん表情や態度、声の大きさ、高さ低さ、いろいろな要素が組み合わせられて、初めて思いを伝えることが出来ます。一方的であったり、あるいは攻撃的であったりすると、相手にすればややもすると「人権」をないがしろにされたと感じ取られかねません。まして、「目は口ほどにものを言い・・・」ともいいます。

今月は同日にその両極端の経験をされたペンネーム「やまとなでしこさん」

私たちも、日々相手の立場にたって話をしたいものですね。

**「人と話をするときは、相手の目を見て話しましょう」
 「人の話は、話す人の顔を見てしっかり聞きましょう」**

…子供の頃から、幾度となく聞いてきた言葉。

社会人となって四半世紀分に及ぶ年月を過ごしてきたこの春、この言葉の大切さを、身をもって痛感する二つの事件が同日に勃発した。

事件その1。午前11時。とある会議室での面談の一場面。相手は1人。当方は2人。私は初対面の相手に対し、「よろしくお願ひします」とあいさつした。が、しかし。相手は私に一瞥もくれず、さっさと本題に入った。面識のある者同士、冗談も交えながら和やかな雰囲気での対話が進むこと約30分。その間、会議室はまさしく『二人の世界』だった（別に変な意味でなく）。言うまでもなく私は会話の内容についてはド素人で、相手も私に話を聞いて欲しいなどとは思っていなかったに違いない。それにしても、私の人生の中でワースト5に入るくらい居心地の悪い空間だった。

事件その2。午後7時。職場でのとある一場面。相手は1人。当方は5人。相手の人が今見てきた情景を説明している。ここでもまた初対面の私はまず頭を下げた。その人は私に向かって軽く会釈をし、説明を始めた。まさしく「みんな」に対してだった。その人の目は一人ひとりの顔を順番にたどり、確認するように動いていく。もちろん視線はまっすぐ。聞いているみんなの目も話す相手に釘付けだ。圧巻だった。

伝える側と受けとめる側。人は、自分の思いを表すために「言葉」という道具を使う。その道具の持つ力をより効果的にするのが仕草や表情だと私は思う。子どもと話すときはしゃがむとかが、相手の話に相づちをうつとかが、ちょっとした心がけがよりよい人間関係につながる。

人権を大切にすると、何も難しく考えることなく、まずはそこにいる人の存在を認め、真摯に向き合うことなのではないか。

…言葉や態度の持つ力を、改めて実感した豪雨の一日。私の心はまさに「雨降って、地固まる」なのでありました。めでたしめでたし。

[ペンネーム：やまとなでしこ]

…このコーナーでは、みなさんからの投稿をお待ちしています。教育委員会人権同和対策室までお寄せください。

学校お助け隊だより

六月六日に、子供の国保育園と江府小学校で「人権の花」

贈呈式があり、花の苗とプランター、それにプランターに入れる土が贈られました。保育園と小学校を合わせると百近くのプランターが贈呈されるため、プランター用の土作りだけでも、大変な作業です。そこで、お助け隊のみなさんが、プランターの土入れ作業をしてくださいました。



いよいよ苗植えです

保育園には五名、小学校には十名のお助け隊の方が来られ、手際よく作業を進められました。小学校では、余った時間を使って、プール横の花壇も整備してくださり、これからの水泳シーズンにふさわ

しい環境が整いました。



小学校のプール横の花壇を整備

お助け隊のみなさんが準備をしてくださったおかげで、贈呈式の後、さっそく子ども達は苗をプランターに植えていくことができました。保育園では、苗の植え方も教えていただいて、上手に植えることができました。

学校お助け隊では、今後も環境整備支援や学習支援を行っていく予定です。皆様のご協力をよろしくおねがいます。

【お問い合わせ】

学校支援地域本部事務局

七五―二二二三

カイル先生のほのぼのコラム⑩

Hi everyone,

The past month has been pretty uneventful. I climbed Mt. Daisen again with some of my friends a few weeks ago. It was a lot of fun but it took a long time. I'm looking forward to the summer and all of the festivals that come with it. This will be my first summer in Japan and my first opportunity to participate in the festivals. I've heard that they are a lot of fun. Summer also means that some of the ALT's will be going home soon and new ALT's will come. I will miss the friends I've made but I also look forward to meeting new people from around the world. I hope you are able to stay cool and enjoy the summer.

みなさん、こんにちは。

ここ1ヶ月は、かなり決まりきったものでしたが、数週間前に友だち何人かで2度目の大山登山をしました。とても楽しかったのですが、時間がかかってしまいました。

私は今、この夏と夏とともにやって来る祭りをととても楽しみにしています。何しろ、日本の夏は初めてですし、祭りに参加できる初めての機会でもあり、また、とても楽しいものだと聞いているからです。

夏はALT（外国人指導助手）の内の何人かが故郷に帰り、その代わりに新しいALTがやって来る季節でもあります。せっかく仲良くなった友人たちがいなくなるのは寂しいですが、世界中からやって来る新しい人たちとの出会いは楽しみでもあります。

では、みなさんがこの夏を涼しく快適に、そして楽しく過ごせるよう願っています。

花も心も育てよう!

「人権の花」贈呈式がありました

『人権の花』運動というのは、子ども達が協力し合って花の世話をすることで、協力や感謝することの大切さや生命の尊さを実感し、人権を尊重する心や豊かな情操を育むことを目的として、法務省と全国人権擁護委員連合会が全国的に取り組んでいる運動です。



保育園では、ぞう組（年長児）さんが代表で受け取りました。



小学校では、各学年の代表が受け取りました。

六月六日に、子供の国保育園と江府小学校で「人権の花」贈呈式が開かれました。
贈呈式には、町の人権擁護委員さんをはじめ、米子人権啓発活動地域ネットワーク協議会のみなさん、そして人権イメージキャラクターの「人KENまもる君」や「人KENあゆみちゃん」もかけつけて、にぎやかな贈呈式になりました。



保育園には、人KENあゆみちゃんが来てくれました。

人KENまもる君と一緒に、記念撮影です。



子ども達に大人気!

贈呈式の後には、花の苗植えをしました。保育園は、学校お助け隊のみなさんに教えてもらいながら、小学校では、縦割り班でグループを組んで作業をしました。保育園では三十個、小学校では六十個程度のプランターにきれいに苗が植えられました。今回贈呈された花のうちのいくつかは、子ども達が世話をした後、町内の主な施設に贈呈されるそうです。保育園や小学校を始め、町内のあちこちが、きれいな人権の花で飾られるのが楽しみです。



学校お助け隊や更生保護女性会のみなさんに土入れをしていただいたプランターに、みんなで苗を植えました。



7月の本棚

～町立図書館より～

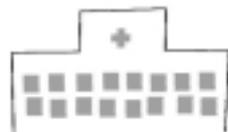
♪江府町立図書館♪開館時間

平日 8:30～19:00
土日祝 8:45～17:30
TEL 75-2005

役に立ちます



医療関係図書



一言で「医療関係図書」と言っても、
家庭の医学、食事療法、健康法、最新
医学など内容は様々。体に不調を感じ
たとき、家族の体調が心配なとき、手
軽な健康法を知りたいとき…ぜひお役
立てください♪

*医療関係図書は
2階にあります。
*新刊分は1階の
新刊コーナーに
あります。



あたらしく入った医療関係図書

○医学・基礎医学

薬の効用と効くしくみ事典
医者からもらった薬がわかる本
免疫を高めてがんを勝つ野菜レシピ1243

○臨床医学

ひと目でわかる！*健康診断
図解*すぐわかる検査値の読み方
すぐ引ける救急事典
ホントのツボがちゃんと押せる本
先端医療のしくみと治療法がわかる本
からだの「ゆがみ」を治して健康になろう！

○内科

高脂血症毎日のおかず
貧血の人のおいしいレシピブック
インスリン自己注射まるわかりQ & A
毒出し脂肪燃焼ダイエットスープ
思春期の「うつ」がよくわかる本
認知症・アルツハイマー病
尿酸値を下げたいあなたへ

○外科

胃手術後の100日レシピ
腎臓病透析患者さんのための献立集
皮膚のトラブルが治らないときの本

○婦人科・産科

夏冷え・冬冷えがづらいときの本
知っておきたい*子宮の病気
最新不妊治療がよくわかる本
女性のつらい症状は「首」で治る
女性の医学オール百科

○眼科・耳鼻咽喉科

オール図解*視力復活眼筋トレーニング

○歯科

歯の「四大不安」解消読本
スーパー図解歯周病

○衛生・公衆衛生・予防医学

すぐ役に立つ*介護食の知識献立・栄養・介助
からだにいい食事と栄養の大事典
量る・計る・食べるダイエット
みるみる免疫力がアップする食べ物
「寝るのが怖い」がなくなる本
健康ストレッチ&エクササイズ
朝のスッキリ1分ヨガ&夜のゆるゆる3分ヨガ

○薬学

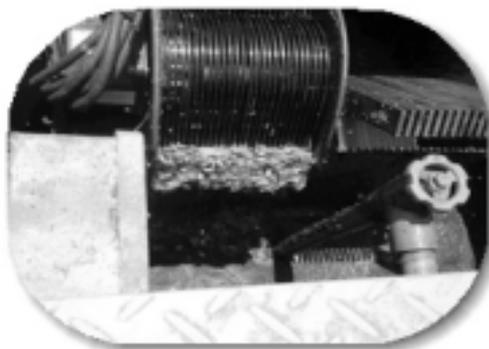
自分で採れる薬になる植物図鑑
医師が教えるアロマセラピー
にんにくで免疫力&代謝アップレシピ

ポンプが悲鳴を上げています！

～異物の詰まりによる下水道故障が多発～



◀ポンプに詰まった異物類



◀処理場に流れてくる調理くず

下水道に流された「ゴム手袋」「下着」「ビニール袋」などが詰まり、ポンプの故障や異常が頻発しています。

家庭や学校、事業所などで今一度次のことを確認し、下水道施設を公共の財産として大切に使用しましょう。



トイレでは… 水に溶けるもの以外は流さないでください！



ウェットティッシュや紙おむつ、タオルなどの布類、たばこなどを流さないように気をつけましょう。家庭の排水管のつまりの原因となるばかりでなく、上の例のように、処理場や中継ポンプの故障にもつながります。

なお、「トイレ清掃用シート」「赤ちゃんのおしりふき」には流せるものと流せないものがあります。取扱いに注意しましょう。また、「ティッシュペーパー」は水に溶けませんので使用しないようお願いします。

台所では… ゴミや廃油を流さないでください！

調理の際に出る野菜くず、残飯などを流さないようにしましょう。また、てんぷら油やサラダ油などの廃油は、排水管内で石けんと化合し、固まって詰まりの原因となり、処理場の機能にも悪影響を及ぼします。調理くず、残飯はネットなどを利用してよく水切りをし、廃油は紙か布にしみこませていずれも「可燃ごみ」として処理していただくようお願いします。



風呂場では… 髪の毛を流さないでください！



髪の毛は分解されにくいいため、排水口から流れ出ると排水管の詰まりの原因となり、処理場機能の異常にもつながります。排水口にネットを利用するなど、できるだけ髪の毛が流れ出ないようにご協力をお願いします。

美しい水環境をいつまでも！

家庭からの生活排水は、身近な側溝や水路をはじめ、河川や海などを汚す原因となります。きれいな水は生活していく上で欠かせないもので、この環境を維持していくためにも、私たちが普段から水を汚さないよう心がけた生活することが必要です。生活排水を水路等へ流さない取組みとして、下水道への接続及び合併処理浄化槽の整備を併せてお願いいたします。

★水道・下水道についてのお問合せは…建設課（電話75-3306）

平成22年度中山間地域等直接支払制度 実施状況の公表について

農林課農業委員会からの
お知らせ

中山間地域等直接支払制度の第3期対策が昨年からスタートし、1年が経過しました。

この制度は1つの集落や複数の集落等で一定以上の傾斜のある農地を対象として1ha以上の面積を持つ集落協定を作り、草刈、耕起等による適切な農地の管理、水路・農道の管理、多面的機能を増進する活動を5年間行うことで集落協定に参加している農地面積分の交付金が交付されます。本町では平成22年度は27集落協定に対して総額89,209,656円の交付金が国(50%)、県(25%)、町(25%)から支払われました。各集落協定では本交付金を利用した農機具の購入、共同防除、営農研修会等の取組が行われ、地域の保全・強化に役立てられています。

各集落協定における制度参加面積及び交付額

(単位：㎡、円)

集落協定名	急傾斜面積	緩傾斜面積	面積合計	交付額
江尾	299,879	1,751	301,630	6,316,516
本町五丁目	52,708	0	52,708	885,494
小江尾	223,045	38,591	261,636	4,992,673
美女石	38,950	12,631	51,581	918,998
柿原	108,251	0	108,251	2,273,271
宮市	232,966	0	232,966	4,896,450
宮市原	96,084	32,623	128,707	2,278,748
助沢	131,064	11,320	142,384	2,842,904
下蚊屋	63,309	127,777	191,086	2,351,705
小原	233,906	0	233,906	4,912,026
美用	203,554	15,606	219,160	4,399,482
栗尾	122,285	0	122,285	2,567,985
御机	374,636	0	374,636	7,867,356
杉谷	199,364	32,851	232,215	4,426,142
貝田	571,996	0	571,996	12,011,916
下安井	26,813	34,955	61,768	842,713
洲河崎	0	27,905	27,905	178,592
武庫・半ノ上	63,899	0	63,899	1,341,879
荒田	51,733	1,961	53,694	1,102,081
武庫・新道・一旦	2,464	50,147	52,611	452,920
池ノ内	154,487	27,939	182,426	3,467,739
尾上原	188,414	0	188,414	3,165,355
日ノ詰	137,667	0	137,667	2,891,007
深山口	12,544	0	12,544	263,424
吉原	173,528	0	173,528	2,915,270
西成	128,223	0	128,223	2,154,146
大河原	309,184	0	309,184	6,492,864
合計	4,200,953	416,057	4,617,010	89,209,656

農業委員会だより



農業者年金制度について

農業者年金制度は、他の公的年金と同様の「老後生活の安定・福祉の向上」の目的とともに、年金事業を通じた農業政策上の目的を併せ持つ制度です。老後に備え、みなさん加入しましょう。

◎農業者年金の特徴

①税制上の優遇措置

支払った保険料は、全額（12万円から80万4千円）が社会保険料控除の対象。所得税や住民税の節税につながります。

②積み立て方式

自分で積み立てた保険料とその運用益により、将来受け取る年金額が決まります。

③保険料の額は自由

自分が必要とする目標の年金額に向け、月額2万円から6万7千円の範囲（千円単位）で自由に設定できます。

④保険料の国庫補助

認定農業者等の一定要件を備えた意欲ある担い手は、保険料（月額2万円）の2割から5割の国庫助成があります。

◎加入要件

☆年齢要件

20歳以上60歳未満の方
国民年金の付加年金への強制加入となります。

☆国民年金の要件

国民年金の第1号被保険者（ただし保険料納付免除者でない方）

☆農業上の要件

年間60日以上農業に従事している方

7月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎相談日 平成23年7月29日（金）午後1時30分から
山村開発センター

農業委員会総会（6月）

審議案件は、全て承認されました。

- 1) 農用地利用集積計画（案）について 2件
- 2) 農地法第5条一時転用申請について 1件

ツキノワグマに注意！

最近クマの目撃情報が多く寄せられています。人身被害を防止するため、特に山際の農地や山林内では、十分気をつけてください。

遭遇しないためには・・・

クマは本来、温厚で臆病な動物です。人間の気配を感じたら自ら逃げて行きます。人間の存在を知らせることが必要です。

○明け方と夕方は注意

クマの活動が活発になる時間帯です。

○鈴やラジオなどを携帯

音の出る物を携帯し、音を出して存在を知らせましょう。

○糞や足跡に注意

糞や足跡を見かけたら迷わず引き返しましょう。

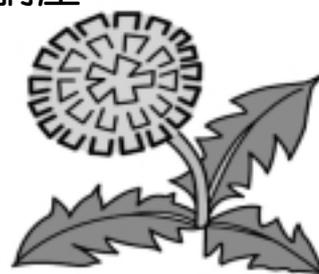
○複数人で行動

入山する時は複数人で行動しましょう。

※姿を目撃された方は、農林課へ連絡ください。

お問い合わせ 農林課・農業委員会（電話75-3222）

たんぽぽ学級



本年度実践強化事項「人権とは」～江府町の意識調査結果より～

◎開催時間→毎回 午後7時から8時30分 ◎場所 江府町防災・情報センター

回	期日・段階	内 容	講 師
1	7月21日 (木)	開講式・講演 《つかむ》 「人権とは～」 ～2009年3月実施江府町同和問題に関する町民意識調査より～	鳥取県人権教育 アドバイザー 加持谷 典範 氏
2	8月3日 (水)	ワークショップ 《つかむ》 「ジェンダーって何？」 ～男になりたい？女になりたい？～	鳥取県男女共同参画センター 「よりん彩」 企画員 石井 宏美 氏
3	8月23日 (火)	映画 《つかむ》 「おくりびと」	
4	9月7日 (水)	講演 《ふかめる》 「母と娘で問うた部落差別」	米子市生活相談員 坂 田 かおり氏 坂田愛梨さん・瑠梨さん
5	9月20日 (火)	講演 《ふかめる》 「壮絶な人生を生き抜いて・・・ たどり着いた先とは・・・」 ～笑顔の奥に隠された波瀾万丈の人生～	高齢者看取りの家 「なごみの里」代表 柴田 久美子 氏
6	10月6日 (木)	講演 《ふかめる》 「平和と人権」 ～択捉島で考えたこと～	岸本中学校 教諭 松原 隆 氏
7	10月20日 (木)	講演・閉講式 《まとめる》 ○わたしたちの取り組み ○これからのあゆみ	江府町立江府小学校 米沢支部

* 都合により内容が一部変更になる場合がありますのでご承知ください。

* ご不明な点は江府町教育委員会 (☎75-2223) にお問い合わせください。

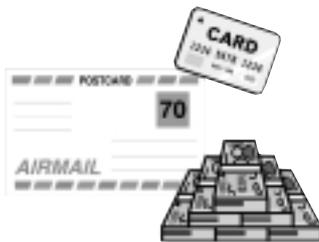
主催：江府町教育委員会 後援：江府町人権・同和教育推進協議会

注意！！ “海外宝くじ” のダイレクトメール

身に覚えのないメールが海外から届き、中には「リストに登録済！」や「選出されました！」などの言葉が踊り、すぐに高額な現金が手に入るような内容です。

「受け取りのためにはお金が必要で、すぐに振り込むように」等の指示があり、郵便局の定額小為替やクレジットカードによりお金を支払うようになっています。

一度契約をしてしまうと業者と連絡が取れなくなるなど、全国でもトラブルが多く発生しています。十分注意しましょう。



○海外宝くじは購入できません

日本国内で海外宝くじの購入は、法律で禁止されています。（刑法187条）

○解約が困難となる場合も・・・

クレジットカードで決済すると、毎月引き落とされたり、解約手続きが困難となることがあります。

○届いても無視しましょう

お金を払ったりせず、無視しましょう。

※ダイレクトメール：商品等の宣伝のため、特定の顧客層に郵送する手紙やカタログ等の印刷物

各種証明書発行の時間を延長しています

仕事の都合等で昼間役場に来ることができない方のために、証明書の交付時間を延長しています。どうぞご利用ください。

○延長している日時：月曜日、木曜日（祝日、年末年始除く）午後7時まで

○延長している場所：江府町役場 本庁舎のみ

○交付できる証明書

- 住民票（転出・転入手続きはできません）
- 印鑑証明（新規、変更登録手続きはできません）
- 所得（課税）証明
- 軽自動車税納税証明（車検用）

○ご注意ください

※戸籍関係の証明書やパスポートの申請・受付はできません。

※こられた方の本人確認を行っています。運転免許証等確認できるものをご持参ください。

夏の交通安全運動が始まります

7月13日（水）から22日（金）までの10日間、夏の交通安全県民運動が実施されます。

運動期間中に車を運転するときは、いつもより少しスピードを緩めて、ゆとりを持った生活をしてみましょう。



ゆとりを持った生活を

「重点目標」

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 自転車の安全利用の推進

お問い合わせ 町民生活課（電話75-3223）

アナログ放送は **7月24日** で **終了します!!**

以下のような画面でテレビをご覧の方は、対応が終了していません!

画面上下に黒い帯

地デジのお知らせが随時表示

画面右上に「アナログ」の表示

番組の画面上に終了日等も表示
されます。

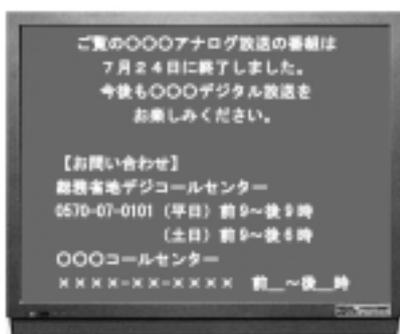
CMの間は消えます

定期的に、全画面での「お知らせ
画面」が短時間表示します。



24日からは画面が変わり、25日までには映らなくなります。

7月24日正午以降



7月24日正午からブルーバック
のお知らせ画面を表示します。
24時までに停波します。

停波後



7月24日24時までに停波し、
その後は、映りません。

地デジに関するご質問お問い合わせは
「**デジサポ鳥取**」までお気軽にご連絡ください!

受信相談専用電話 0857-33-4800

●平日9:00~21:00 ●土日祝9:00~18:00



行事あれこれ

7月

都合により、日程が変更される場合があります。

日曜日	行事名	場所	時間
11月			
12日	ふれあいデー 地デジ臨時相談	子供の国保育園 防災・情報センター	10:00~11:30 8:30~17:15
13日	人権・行政相談所 人権同和教育研修会「講演 がんばれ!日本」	防災・情報センター 防災・情報センター	9:00~12:00 13:30~15:00
14日	明德学園 ふれあいデー 家族の会 広域隣保活動(生花教室)	防災・情報センター 子供の国保育園 総合健康福祉センター 本町五丁目集会所	9:30~16:00 10:00~11:30 10:00~12:00 19:00~21:00
15日	江府中学校1学期終業式		
16日			
17日			
18日	海の日 地デジ臨時相談		
19日	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
20日	江府小学校1学期終業式		
21日	ふれあいデー もの忘れ外来 地デジ臨時相談 広域隣保活動(陶芸教室) 人権同和教育講座たんぼぼ学級	子供の国保育園 江尾診療所 防災・情報センター 創作館 防災・情報センター	10:00~11:30 受付 13:00~16:00 8:30~17:15 19:00~21:30 19:00~20:30
22日	後期高齢者医療被保険者証配布 広域隣保活動(陶芸教室) 明道児童館夏休みこどもも研修	全集落 創作館 鳥取市わらべ館	9:00~17:00 19:00~21:30 9:00~17:00
23日	広域隣保活動(カラオケ教室)	本町五丁目集会所	19:30~22:00
24日			
25日	地デジ臨時相談	防災・情報センター	8:30~17:15
26日	ふれあいデー 住民健診(29日まで)	子供の国保育園 総合健康福祉センター	10:00~11:30 受付 8:30~10:30 13:30~15:00
27日	明道児童館活動グラウンドゴルフ 西ノ島交歓臨海学校(~29日まで)	江府小学校校庭 西ノ島町	10:00~11:30

●広域隣保活動・児童館事業の参加希望者は、本五集会所(75-2624)へ連絡して下さい。

ハローワークから求人情報

●求人情報・採用に関する事などは米子公共職業安定所根雨出張所(電話72-0065)へ連絡して下さい。

ハローワーク根雨では、仕事に関する相談をお受けします。お気軽にご相談ください。

江府町人権同和问题啓発標語

江府小学校2年 かげ山 大き **気もちよく** さべつなしの **ぼくの町**
江府小学校2年 あかい ちさき **ごめんなさい** あくしゅをすれば **なかなかおり**

学校名、学年は応募があった平成22年度時点で掲載しています。

8月

日曜日	行事名	場所	時間
1日	明道児童館活動グラウンドゴルフ	江府小学校校庭	10:00~11:30
2日	ふれあいデー 明道児童館体験活動乳搾り	子供の国保育園 蒜山高原	10:00~11:30 9:00~12:10
3日	地デジ臨時相談 人権同和教育講座たんぼぼ学級	防災・情報センター 防災・情報センター	8:30~17:15 19:00~20:30
4日	もの忘れ外来 ふれあいデー	江尾診療所 子供の国保育園	受付 13:00~16:00 10:00~11:30
5日	赤ちゃん健診・BCG予防接種	総合健康福祉センター	受付 13:00~13:30
6日			
7日	地デジ臨時相談	防災・情報センター	8:30~17:15
8日			
9日	ふれあいデー 明道児童館活動グラウンドゴルフ	子供の国保育園 江府小学校校庭	10:00~11:30 9:00~11:30
10日	人権・行政相談所	防災・情報センター	9:00~12:00
11日	ふれあいデー 家族の会 広域隣保活動(生花教室) 地デジ臨時相談	子供の国保育園 総合健康福祉センター 本町五丁目集会所 防災・情報センター	10:00~11:30 10:00~12:00 19:00~21:00 8:30~17:15
12日			
13日			
14日			

人の動き

6月届
(敬称略)

◎ごめい福を祈ります

(住所)	(氏名)	(年齢)	(世帯主)
貝田	加藤 静枝	95歳	忠
柿原	清水 常盤	86歳	公人
佐川	藤原 昭	78歳	優
一旦	古川 敏子	99歳	本人

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

(6月分) 敬称略

◎見舞い返しとして

貝田	遠藤 香	本人退院
貝田	車 數照	本人退院

◎香典返しとして

貝田	遠藤 忠	母静枝死去
一旦	三ツ木 昇	母古川敏子死去

今秋鳥取県で開催

第31回

全国豊かな海づくり大会

平成23年10月29日(土)、30日(日)

平成25年鳥取県で開催

第64回 全国植樹祭

交通死亡事故ゼロ継続日数

1,970日 (7月1日現在)

火災ゼロ継続日数

12日 (7月1日現在)

町の人口 3,464人 (-12)

男 1,613人 (-6)

女 1,851人 (-6)

世帯数 1,134世帯 (-4)

6月末現在()は前月比

愛の血液・助け合い運動



7月は「愛の血液・助け合い運動」月間で、この時期は血液が不足します。

献血は見知らぬだれかのために、健康な私たちが血液を提供するボランティアです。皆様の愛の献血をお待ちしています。

○献血実施日：平成23年7月25日(月)

○献血の種類：全血

○献血時間・会場

時間	会場
午前9時～ 正午	江府町役場 横 (旧消防車庫前)
午後2時～ 午後4時	サントリー天然水棟 奥大山ぶなの森工場駐車場



献血に関するお問い合わせ先
福祉保健課 電話75-6111

2011年(平成23年度)

江尾十七夜ポロシャツの販売中

今年も8月17日、本町の歴史的伝統行事「江尾十七夜」が開催されます。

例年Tシャツを作成していましたが、昨年試作したポロシャツが、大変好評だったので今年はポロシャツのみとしました。

素材にこだわり「吸汗速乾」タイプの生地を使用することで、着心地が良くクールビズにも最適です。色は5色。サイズはSからXLまで。一着2,000円です。

なおサイズと色に限りがあります。早めに申込みください。

江府町観光協会

江府町商工会

電話75-2333

FAX75-3943



色は5色(ホワイト、ブラック、ピンク、イエロー、グリーン)

今月の国民年金

納付期限

7月分

平成23年8月31日まで

日本年金機構から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

《7月の納税は》

- ・ 固定資産税 2期
- ・ 国民健康保険税 2期
- ・ 介護保険料 2期
- ・ 後期高齢者医療保険料 1期

納付期限は8月1日(月)です。
(口座振替は8月1日)

第53回 鳥取県西部消防ポンプ操法大会

2年連続優勝(第1分団)、4位(第2分団)

第1分団は全国優勝した昨年に続き、安定した操法で2連覇を達成しました。第2分団は惜しくも4位でした。

優勝した第1分団は、7月17日、鳥取市で開催される第57回鳥取県消防ポンプ操法大会に、県西部町村代表として出場します。

(関連記事を6ページに掲載しています。)



町長後記

梅雨明けを前に、すでに夏のような天候が続き、熱中症による患者が全国的に発生しているとの報道を耳にします。暑さ対策を十分とっていただき予防に努めてください。今月号でも掲載していますので対策の参考にしていただきます。

さて、昨年末に発生した奥大山スキー場雪崩事故についてご報告いたします。専門家による事故調査最終報告書が五月下旬に提出されました。町のホームページには既に掲載しておりますが、町報掲載が今月号になり情報提供が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。事故処理については一定の節目となりましたので、今後はご遺族の皆様との補償協議に入ります。

またスキー場安全対策として、雪崩防止柵設置工事、気象観測装置及び監視カメラの設置を順次行ってまいります。今後、迅速に情報提供を行ってまいりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

奥大山スキー場に関することは、役場奥大山スキー場管理課までお問い合わせください

電話 七七・二八二八

おはようございます。おはようございます。おはようございます。

江府町 明るい家庭づくりのしおりから